

2010年 宮城スタジアム無料開放イベント&ボランティア交流イベント報告

毎年5月5日に開催されている宮城スタジアムの無料開放イベントは、快晴に恵まれ過去最高の約7千人の家族連れでにぎわいました。また、スポーツボランティアの交流企画として「ドッジビー大会」を開催、こちらは約30名の参加となりましたが、飛び込みの子供も交えて楽しい時間を過ごしました。

月日 / 2010年5月5日(水/ こどもの日・祭日)

場所 / 宮城スタジアム・フットサルコート

主催 / 交流イベントはグランディ・21ボランティアとSV2004



【ドッジビーの様子】

【こどもの日ということでベガッ太とティナがきてくれた】

宮城スタジアム無料開放イベントの様子

開場時間の10時には多くの子供連れの親子が並びました。既にスタジアムの中にはスタンドの屋根からこいのぼりが青空をバックに泳ぎ、開場すると受付にはボールを借りるための長い列ができました。

こどもの日といえば「こいのぼり」



さまざまな人からの寄付で集まったこいのぼり、気持ちよさそうです。

そして、観客が一緒に描くこいのぼり。座席の背もたれに袋をかぶせて作りました。



芝生が全面開放され、鬼ごっこにパラグライダー経験、周辺ではニュースポーツ体験にかけっこや、ベガルタ仙台のマスコットのベガッ太くん、仙台89ERSのマスコットのティナとの記念撮影が行われました。



気温が上昇、マスコットも体力勝負



ボランティア活動

ともかく途切れない観客、受付・ボールの貸し出しはもちろん、ピッチ近くでのカメラ撮影、プログラムの配付、かけっこの誘導やコース整理に、グランディのボランティアはもちろん、交流イベントのために参加したボランティアも参加した。



ボランティア交流企画

スタジアムに隣接するフットサルコートは、あの楽天イーグルスのホームであるクリネックススタジアムの人工芝が張替えになった際に無駄にしないために、利用できる部分を活用して作られました。仙台89ERSや楽天のボランティア、グランディのボランティアが集まり、活動の合間をぬって「ドッジビー」というスポーツを楽しみました。これは「ドッジボール」のボールをやわらかいフライングディスクに変えたもので、ルールもほとんど一緒です。1セット10分間でしたが当てるのが風の影響もあってなかなか難しかったようです。2ゲームあわせ約30名ほどの仲間が参加、笑顔でプレーに興じました。



年齢に関係なく楽しめるゲーム、いつか恒例行事になる日がくるだろうか。参加した皆様、お疲れ様でした。